

## 研究会員の声 16

これらは責任のとれない立場からの生の声を記録したものですので、誤解などあるかも知れませんが、それを承知でお読みください。

○この公開質問状のページも1年近くになった。そこで、少し趣向を変え、夏向きの話。

エヌビイエル旧経営陣が人血造船の乗っ取り詐欺に遭い、りんくうアウトレットの地を追い出され、泉南の地に移った。その地でコンプライアンス上大きな問題をもつ奇怪な事件に遭遇したので、広く公知する。最近では、仙台I高校のいじめで、被害生徒が逆に退学させられそうになった事件があったが、正しく告発することが重要なことである。各社、各地に住み着いている悪しき環境・空気が道義上、看過出来ない水準であることでもある。

○ Dr.Nishino は親戚縁者のいる泉南で会社を立ち上げたが、事業開始当初から、住民からの苦情ということで、具体的な法律違反など検証されないまま、公害課・消防・建築指導課・警察・労働安全などが日参、1か月ほど事業中断となった。これが地方都市に住み着くダニの攻撃であることは知るよしもなかった。行政組織を動かしての嫌がらせで、土地建物を安く手放させようという魂胆である。実際の所、すでにかなり巢食われていた。これに対して筋を通して追求を行うと、嫌がらせはぴたりと止み、結末として、次のような顛末・出来事となった。

○ NBL マテリアル(株)が借地権、西野義則が債権担保を持つ、近隣の親戚縁者が訴訟されていた、違約解釈による賠償請求事件に完全勝訴(当方が被害者なのに損害賠償請求された詐欺的な営業と弁護士・司法書士・宅建免許者のグループが企てた事件)。

行政当局がこれに加担、これに対して、泉南市農業委員会に反訴と賠償請求。

訴訟企業に反訴予定であったが訴訟企業が倒産・訴訟弁護士の業務放棄、担当不動産の営業責任者の証人喚問が決まった後急死。この責任者は来社してお金を払えば何でも話す、と言っていたが、断った後、1週間ほどで急死。

さらに担当司法書士が証人喚問拒否と業務放棄・・・すなわち、民事から刑事事件への進展に一斉逃げ出し？。

この裁判は相手が起こしたが、詳細な調査で違法行為がほぼ確定となるにつれ、一斉に逃げ出し完全勝利となった。

社会的？反動か、関係者の主体的な人が2名急死(変死ではない心臓発作？など正常な急死とのことではあるが？うち別の1名は70代であったが、30代の女に巢食われていた？)と悪名高い不動産会社1社が倒産(破産申請して反訴から逃げ出し)、さらに関係した市当局と議員など今後の裁判の行方が注目される。

なお、これは正義を貫いた当方の結果が出した出来事・・・・・・ 同じことが日立造船事件で今、準備され訴訟手続きが進められている。